

第 32 回 日本赤十字社診療放射線技師会 近畿ブロック研修会報告

開催日 令和 6 年 12 月 7 日（土）
担当施設 日本赤十字社和歌山医療センター
会場 日本赤十字社和歌山医療センター 本館 12 階多目的ホール
参加者 12 施設 74 名

令和 6 年 12 月 6 日（土）に第 32 回日本赤十字社診療放射線技師会近畿ブロック研修会が日本赤十字社和歌山医療センター主催により開催された。

研修会のテーマは、「診療放射線技術で気づく、安心と信頼の未来を和歌山から」とし、品質管理を念頭に置いた研修内容が行われた。また、12 施設 74 名の皆様にご参加いただけた。

開会では主催施設の荒井技師長の挨拶の後、日本赤十字社和歌山医療センター山下幸孝院長、日本赤十字社診療放射線技師会荒井会長からそれぞれご挨拶をいただいた。その後、北見赤十字病院中場常任理事より日本赤十字社診療放射線技師会 HP・SNS の説明が行われた。

ランチョンセミナーでは PDR ファーマ株式会社の「疾患修飾治療薬の登場で変わる核医学検査 -アミロイドPETを中心に」が行われた。

休憩をはさんでグループワーク「品質管理について」が行われた。参加者は各モダリティ別にグループ分けされディスカッションを行い、各施設が行っている品質管理項目を共有、特に日常点検の内容を共有し全体として品質管理のあるべき方向性を確認しモダリティ別に発表した。

研究発表では 7 施設 10 演題の応募があり、2 つのセッションに分けて発表を行った。活発な質疑応答が行われ有意義な研究発表が行われた。

教育講演では日本赤十字社和歌山医療センター整形外科玉置部長から「何を診たいかで理解できる XP 撮影のコツ」というテーマでご講演をいただいた。普段、診療放射線技師が撮影する画像から整形外科医師が診察する上で診ている内容について、具体的な画像を多数紹介しながらお話しいたき明日からの一般撮影に繋げていかなければならないと感じる大変勉強になる講演であった。

教育講演の後、姫路赤十字病院岩見技師長より次回開催施設の挨拶があり、その後、イブニングセミナー・懇親会会場であるアバローム紀ノ國へ移動した。

イブニングセミナーはキヤノンメディカルシステムズ株式会社より、「画像評価の基礎から最近のトレンドまで」という内容で最後まで品質管理について考えることができた研修会であった。

イブニングセミナー後に同会場で懇親会が行われ、最後に閉会の挨拶が、主催の日本赤十字社和歌山医療センター川村課長から行われ研修会は終了した。

今回ご参加いただいた皆さま、また開催にあたりご協力いただきました皆さますべてに心より感謝を申し上げ、研修会報告といたします。